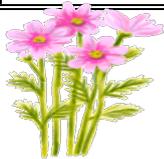


朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校
児童数 961名
令和3年10月1日号



分散登校のギフト

田邊 雅也

10月で令和3年度も折り返しとなります。緊急事態宣言下での分散登校ハイブリッド型授業で、子供たちを取り巻く教育環境は急激に変化したと感じています。子供たちも教職員も保護者の皆様もデジタルリテラシー（※）を身に付け、国が推進している「GIGAスクール構想」や「令和の日本型学校教育」がさらに深化したのではないかと感じています。

皆様のお陰をもちまして、分散登校は、子供たちに「生きて働く力（武器）」を増やすチャンスとなり、最高のギフトをもたらしてくれました。保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2030年 急激な変化

子供たちがiPadを使用していることもあり、iPhone13の発売に目がいきます。5Gはもちろんですが、他の機能もさらに進化してるようです。iPhoneやiPadに限らず、テクノロジーはさらに進化し、10年前後（2030年頃）には、6Gが本格的に登場し、人工衛星などの通信で地球全体がカバーされ、インターネットの世界をさらに一変させると言われています。

例えば、レベル4や5といった車の完全無人運転が実現します。東京オリンピックですでに選手村で自動運転の巡回バスが登場しました。また、人工知能（AI）と結びついた即時翻訳、そして「ホログラム」と呼ばれる3次元の投影技術で現実世界に人の疑似映像など、SF映画のように人が対話するといった技術も登場するそうです。

紹介したのはまだほんの一部ですが、世界中で無数の新技術がこれから登場していきます。日本を含め、AIや量子コンピューターなど幅広い技術が鍵を握るとあって、現在、世界は開発の真っ只中です。

なっとくかい さいてきかい 「納得解」や「最適解」(※)を

しかし、AIや量子コンピュータがいかに進化しようとも、あくまで与えられた目的の中での処理をする道具にしかすぎません。大切なことは、子供たちが感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのか、つまり皆が「happy（幸せ）」になる世の中にするにはどうしたらいいのかを自ら考え出すことが大切だと感じます。

答えのなかなか出ない課題を自ら考え、正しい情報を選んで自分の考えをまとめたり、多様な他者と協働したりしながら、デジタルリテラシーをフルに活かし、「納得解」や「最適解」を見出していくことが大切だと考えます。

子供たちは、これからの10年間、変化の激しい時代の中で成長していきます。デジタルリテラシーを高め、「納得解」と「最適解」を導き出せるよう、子供たちに寄り添ってあげることは、次世代を担う子供たちのための大人の責任と言えます。

「教育は未来づくり」です。子供たちと向き合うことは未来と向き合うことと同じと言っても過言ではありません。



- ※デジタルリテラシー：インターネットを中心にデジタル情報や通信について、活用するパソコンやスマートフォンなどの機器、アプリについての知識をもち、利用する能力のこと
- ※納得解：正解はないかもしれないけど、自分（たち）が納得できる解のこと
- ※最適解：状況を分析して、最適と思われる解のこと

今後も、限定公開YouTubeやFacebookでも子供たちの学び、教職員の奮闘ぶり、未来を見据えた授業など、少しでもわかりやすく発信していきます。どうぞよろしくお願いいたします。